



2020年4月から小学校新学習指導要領改訂で必修化！

都立高専で親子イベントを開催！ 「プログラミング的思考を学ぼう」企画

2020年度から全小学校で必修化される「プログラミング教育」。「プログラミング教育」とは、作業的なことではなく、「プログラミング的思考」、つまり物事を論理的に考える力を育むことです。ちょっとわかりづらいこの「プログラミング教育」をわかりやすく伝えるため、実際に読者に体験してもらい、紙面で載録しようと考えました。

そこで、東京都立産業技術高等専門学校の協力を得て、「プログラミング的思考を学ぶイベント」を実施。紙面で募集した小学校4～6年生の親子14組が、プログラミングによりロボットを動かすイベントに参加。参加した親子は、高専の学生の手助けを受け、試行錯誤しながら、プログラミングに挑戦。プログラミングの基本である「繰り返し」と「条件分岐*」を学びました。プログラミングが完成し、ロボットがうまく動くようになると、参加者たちから歓声が沸き上がりました。参加者の満足度はとても高く、イベントの様子は子育てサイト「東京すくすく」にも掲載しています。

*条件分岐=ある条件を満たしているかどうかで、次にすべきことを変える命令
(東京本社広告局出版・エンタテインメント広告部 高田 直義)



▲自分でプログラミングしたロボットを動かす！



親子14組が参加！
イベント載録は
「東京すくすく」にも併載

2019年11月23日東京新聞朝刊 30段二連版

【共催】東京新聞
東京都立産業技術高等専門学校
【協力】方正、東京カルチャーセンター、
創元社